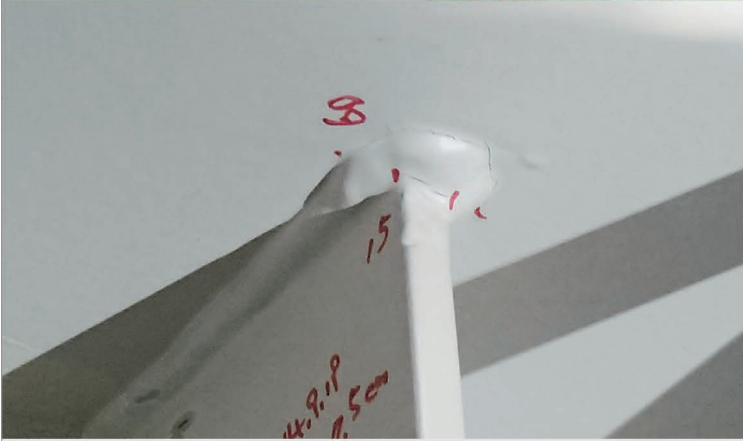
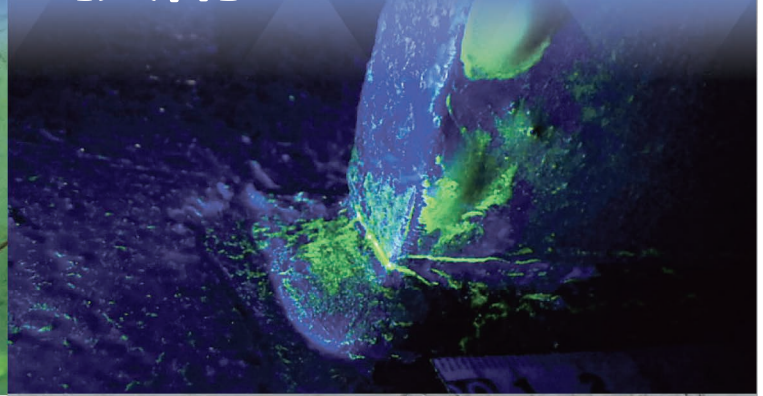
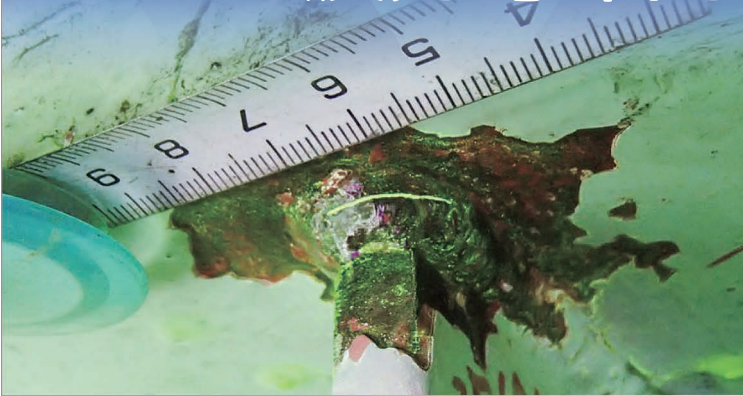


微小な疲労き裂を効率的に補修

ICR処理（衝撃き裂閉口処理） による疲労寿命向上技術



ICR処理工法を通じて

社会インフラの長寿命化に貢献します。

き裂を 効率的に補修

- 当て板工法が補修困難な箇所にも施工できます。
- 従来工法よりも小規模な設備で施工でき、交通規制も必要ありません。
- 部材の製作や高力ボルトの施工手間が不要なため経済的で工事期間を短縮します。

技術の研鑽を 目指して

- ICR処理を適切に行うための各種講習会を、管理者や作業従事者向けに実施しています。
- ICR処理の効果検証と現場作業の省力化と効率化を実現するための研究を行っています。

明日へ繋ぐ、未来に繋ぐ

中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社

特長

エアーツールや電動工具で塑性変形を与えて疲労き裂を閉口させることで、疲労き裂の進展速度を遅延させます。

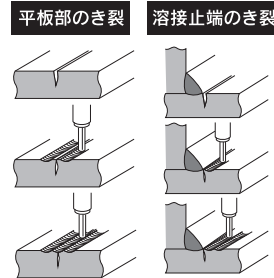
※国立大学法人名古屋大学が開発した技術です。当社は同大学と協同してこの技術のさらなる研究と普及に努めています。

(特許第4441641号、特許権者：名古屋大学)

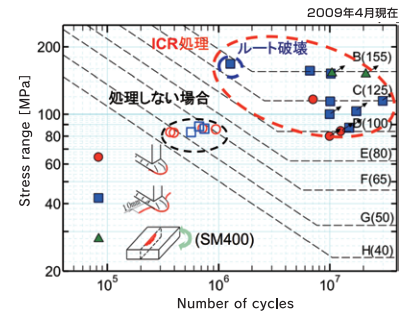
施工状況



補修過程(図説)



ICR処理による効果



当社の取り組み

ICR処理施工前の技術指導講習会への講師派遣

当社では、ICR処理を適切に行うための講習会を実施致します。

- 座学：ICR処理技術及び施工方法や品質管理を理解するための教育(管理者・作業従事者向け)
- 実技：試験体を用いて実施工を考慮した実地訓練(作業従事者向け)



座学状況



実技指導状況【平板】



実技指導状況【試験体】

ICR処理の効果に関する更なる延命化に向けた自主研究

- 充電式電動工具を用いたICR処理の疲労耐久性評価の実施
ICR処理の品質を落とさず現場作業の省力化と効率化を実現するための研究に継続的に取り組んでいます。
- 実構造物におけるICR処理の効果検証を実施
実構造物の様々な疲労き裂に対してICR処理を行い、処理前後と追跡調査の計測結果から効果検証を行っています。

(問合せ先)

中日本ハイウェイ・エンジニアリング名古屋株式会社

名古屋市中区錦1-8-11 DPスクエア錦9F 〒460-0003
TEL:052-212-4551(代表)052-212-4597 営業部直通

中日本エンジ名古屋 検索 FAX:052-203-5106

<https://www.c-nexco-hen.jp/> mail:info.yy@c-nexco-hen.jp

